

2024年7月4日

建築研究開発コンソーシアム
正会員・準会員様 各位

建築研究開発コンソーシアム
インキュベーション委員会

2024年度 研究企画ミーティング開催のご案内 宅地擁壁の耐震性向上

この度「2024年度 研究企画ミーティング～宅地擁壁の耐震性向上～」を下記の通り開催いたしますので、ご高覧のうえ奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

【概要】

宅地擁壁の耐震性向上というテーマに沿って、石積み擁壁の地震被害と耐震性の評価事例について話題を提供する。また、建築研究所の近年の課題に関連した宅地擁壁に関する研究内容の情報提供を行う。

※詳細については次頁「研究企画ミーティングの内容」をご参照ください

- 話題提供① 「小規模宅地における石積み擁壁の被害の状況と特徴について」
井上 波彦 氏／国立研究開発法人 建築研究所 構造研究グループ長
- 話題提供② 「石積み擁壁に作用する地震時外力と耐震性評価事例について」
柏 尚稔 氏／大阪大学 工学研究科 地球総合工学専攻 教授

【日時】 2024年7月31日(水) 13:15～17:00 ※13:00より受付開始

【会場】 東京都中央区晴海1-8-12 晴海トリトンスクエア オフィスタワーZ棟 4階
日本建築住宅センター講演室

【参加資格】 正会員、準会員 【定員】 40名 【参加費】 無料

【申込締切】 2024年7月26日(金) ※定員に達した時点で締め切らせていただきます

下記項目を明記し、メールにてお申込みください

- ・メールの件名：7/31 研究企画ミーティング「宅地擁壁の耐震性向上」
- ・メールの本文：社名、部署名、氏名、TEL、E-Mail をお書き下さい。
- ・申込先メールアドレス：lecture@conso.jp

※開催日の前日までに【参加票】をメールにて送付いたします。届かない場合はご連絡願います。

【問合せ先】 建築研究開発コンソーシアム事務局
担当：恩田 E-mail onda.h@conso.jp TEL 03-6219-7127

●7/31(水)開催 研究企画ミーティング「宅地擁壁の耐震性向上」の内容

内 容	時 間
冒頭挨拶等	13:15 ～13:20
【本日の概要説明と建築研究所の近年の課題に関連した検討内容を紹介】 建築物の敷地の安定、特に宅地擁壁の性能についてというテーマに沿って、石積み擁壁の地震被害と構造性能といった研究についての話題提供者の紹介、話題提供の概要を説明する。 また、建築研究所の近年の課題に関連した宅地擁壁に関する研究内容を情報提供する。 <u>井上 波彦 氏</u> 〔 <u>国立研究開発法人 建築研究所 構造研究グループ長</u> 〕	13:20 ～13:40
【話題提供① 小規模宅地における石積み擁壁の被害の状況と特徴について】 過去の被害地震において、特に小規模の戸建て住宅に関して、住宅のみならず敷地が大きな被害を受ける事例が報告されている。老朽化した既存宅地の擁壁が地震時に被災、崩壊すれば、避難救助活動に影響するだけでなく、復旧にも長期間を要するため、生活の再建が進まない。2011年の東北地方太平洋沖地震における仙台市及び2016年の熊本地震における益城町のそれぞれにおける宅地擁壁の被災状況の分析結果を紹介する。(60分、質疑応答込み) <u>井上 波彦 氏</u> 〔 <u>国立研究開発法人 建築研究所 構造研究グループ長</u> 〕	13:40 ～14:40
休 憩	14:40 ～14:50
【話題提供② 石積み擁壁に作用する地震時外力と耐震性評価事例について】 宅地擁壁に対する技術基準である宅地造成及び特定盛土等規制法(旧宅地造成等規制法)においては、仕様規定としての練積み擁壁が規定され、建築基準法においてもこうした規定を準用しているが、法規制以前のものや法令における規模制限未達の宅地擁壁では、積み石の一体性の確保に十分な対策が講じられていないものも多い。また、古い練積み擁壁においては、経年によって胴込めもしくは裏込めコンクリートに劣化を生じ、その耐震性が低下している可能性も考えられる。こうした古い宅地擁壁を適切に更新してゆくためには、擁壁の一体性の程度に応じた耐震性を、動的解析やFEM解析などの高度な手法によらずに評価できることが重要である。このとき、宅地擁壁に特有の状況として、その背面に近接して住宅が存在しており、地震時の住宅の挙動が擁壁への外力として影響し、またそれに伴って生ずる擁壁及び地盤の変状が住宅の沈下・傾斜など居住性や安全性に及ぼす影響についても考慮できることが望ましい。そこで、模型実験や解析を通じた石積みの宅地擁壁の耐震性の評価事例について紹介する。(60分、質疑応答込み) <u>柏 尚稔 氏</u> 〔 <u>大阪大学 工学研究科 地球総合工学専攻 教授</u> 〕	14:50 ～15:50
休 憩	15:50 ～16:00
質疑応答・研究会立ち上げに対する総合意見交換	16:00 ～16:40
今後の進め方(第2回予定。研究会立ち上げに向けたスケジュール、アンケート記入等)	16:40 ～17:00

以上